


I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立八戸高等支援	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 ■ その他（情報）		
	単元（題材）名	画像の加工（フォトコラージュ）をしよう		
	単元（題材）の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末のアプリやパソコンの画像加工ソフトなどを活用して、撮影した画像の加工を行うことができる。 ・顔写真を使うときのマナーや注意点などについて知る。 ・加工した画像について工夫した点を述べるができる。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	3 年 16 人
	本単元（題材）における学習集団の主な実態	ICT 機器の活用に意欲的な生徒が多い。普段の授業でもタブレット端末で写真や動画を撮影することが多く、タブレット端末の操作には慣れている。一方で、パソコンの操作については、慣れている生徒とそうではない生徒との差が大きく、先にできた生徒がつまづいている生徒にやり方を教える様子が日頃から見られる。		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	プロジェクター、パソコン、iPad		
	使用したアプリケーションの名称	iPad … 「カメラ」「写真」アプリ パソコン…Photoshop Elements	 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器を活用することで、試行錯誤や修正が容易になり、失敗することに対する拒否感が強い生徒でも、気軽に取り組むことができる。 ・画像加工ソフトで簡単に画像の加工ができるという利点を知ると同時に、顔写真を扱うときのマナーや注意点などについて学習する。 		
活用の状況と支援	画像の取り込みや画像ソフトの扱いでつまづいた生徒には教師が個別に対応したが、先に終わった生徒が積極的に教える様子が見られた。 発表会は密を避けるために、2つの教室に生徒を分けて行った。Google Meet を活用し、予定時間内でスムーズに発表会を行うことができた。			